

那須塩原市議会だより

ぎかいのひととき

3月定例会議の内容をわかりやすくお伝えします。

2024.5.20 No.108

特集

地域学校
協働活動推進員

×

市議会

MENU

特集……………	P 2
税金の使い道が決まりました……………	P 4
こんなことを審査・調査しました ……	P 6
NEW! 会派代表質問・市政一般質問…	P 11
Future……………	P 20



特集

地域学校 協働活動推進員 × 市議会

子どもたちとつなぐ地域の輪



地域学校協働活動推進員とは

地域学校協働活動推進員は、教育委員会からの委嘱を受け、地域と学校の橋渡し役として、幅広い地域住民などの参画を得ながら、地域と学校が連携・協働して行う様々な活動を推進している。

那須塩原市では令和6年4月1日現在 61 名が活躍している。

<推進員のやりがいは>

◆小学生と一緒に活動して逆に子どもたちからSDGsについて教えてもらいました。子どもから教わるものがたくさんあることがやりがいです。

先生、地域住民と一緒に考えて、形にしていけることも楽しみです。

<大切にしていることは>

◆基本的なことですが、子どもたちへの挨拶、笑顔、思いやりを大切にしています。

自分たちが面白そうにやっていると、地域の人もついてくると思っています。

<活動に対する子どもたちの反応は>

◆子どもたちが自主性を持って活動しているときは、顔つきが変わって輝きを感じます。

子ども扱いせず、一人の人間として扱うことで、自信を持たせ、成長を感じることができます。

<活動に対する保護者からの反応は>

◆地域住民交流会のアンケートで「また参加させてあげたい」「どちらかと言えば参加させてあげたい」の割合が多かったため、今年もやろうという気持ちになります。

<地域住民との連携は>

◆これまでは、活動に当たり、人づてで、人を集めることが多くありましたが、今は、学校とも協力した上で、自治会ともつながりを持ち、コミュニティを巻き込みながら活動をしています。

<他の推進員との情報共有は>

◆フォローアップ研修のグループで、テーマに沿った話をする中で、他地区との交流が悩みの解消や、新しい発見につながっています。他地区の推進員と直接やり取りができる横のつながりを持つこともできました。

<活動の情報発信は>

◆コミュニティの役員会での説明や学校のホームページでの報告を行っています。

一方通行にはなってしまいますが、保護者に対して、アプリで情報を発信したいとも考えています。

<活動の課題は>

◆地域も学校も公民館も考え方が日々変わるため、引継ぎが難しいことがあります。

また、推進員の認知度が足りないと感じています。

今回の議会だよりが推進員のアピールになると考えています。

<市議会議員に望むことは>

◆子どもたちが選挙権を持つようになったときに、誰が議員になっても一緒と思われないように、選挙に対する前向きな気持ちを持つことができるよう魅力的な情報発信をしてほしいと思います。

また、小中学校の備品など、子どもたちに必要な物には、十分にお金をかけるようにしてほしいと思っています。

今年度から コミュニティ・スクール開始

学校運営協議会という「会議」を設置した学校のこと。
学校と地域住民、保護者が力を合わせて学校運営と地域づくりを行う仕組みができました。

令和6年度の税金の使い道が決まりました

令和6年度は、令和5年度から5年間の総合的かつ基本的な指針である「第2次那須塩原市総合計画後期基本計画」の2年目となります。持続可能な財政運営を確保しつつ、限られた財源を最大限有効に活用するため、後期基本計画の重点推進テーマ等に紐づく事業に優先的に予算付けがされました。

この予算について議会で審査した内容と事業の一部について紹介します。

一般会計、特別会計、企業会計の8会計における予算について審査を行いました。皆さんに納めていただく税金の使い道について慎重に審査した結果、8会計すべて原案のとおり可決しました。

令和6年度予算	
一般会計	540億円
特別会計	221億6,073万円
企業会計	
収益的支出	52億9,418万円
資本的支出	46億 629万円

総務費

- 那須塩原駅周辺まちづくり推進事業費 6,288万円
- 新庁舎整備事業費 1億 3,688万円
- 移住・定住促進事業費 1億 923万円
- シティブランディング事業費 2,316万円
- 防災対策費 4,287万円
- 自治会活動振興費 5,124万円
- 行政情報システム管理費 6億 296万円
- ふるさと寄附事業費 3億 7,605万円

問 移住支援助成金として、想定している世帯数を伺う。

答 48世帯と、単身者8名、そして子ども加算として、子ども約30人を想定し、積算している。



民生費 衛生費

- 地域共生社会推進支援事業費 2,484万円
- 高齢者福祉総務費 165万円
- 児童福祉総務費 2,593万円
- こども家庭センター事業費 2,468万円
- 環境保全総務費 673万円
- 脱炭素社会構築推進費 11億 3,903万円
- 地球温暖化対策推進費 4,167万円
- 那須塩原クリーンセンター管理運営費 36億 312万円

問 カーボンニュートラル課に配属される地域おこし協力隊員について、どのような役割を望んでいるか伺う。

答 青木地区ゼロカーボン街区構築について、地元の方と協力して進めていく役割を期待している。



問 ONSEN・ガストロノミーウォーキングは、来年からは市ではなく実行委員会に委ねるのか伺う。

答 以前から実行委員会形式ではあったが、市の比重が大きかった。来年度は観光局が主に行う。

- 中山間地域活性化事業費 1億 3,416万円
- 牛乳等による地域活性化推進事業費 603万円
- 農村基盤施設整備事業費 1億 174万円
- 有害鳥獣対策費 2,359万円
- 板室健康のゆグリーングリーン管理運営費 6,458万円
- 農観商工連携推進事業費 1,278万円
- 企業誘致事業費 2億 7,553万円
- 観光誘客促進事業費 1億 797万円
- スポーツツーリズム推進費 1,286万円
- 商工イベント支援事業費 1,319万円

農林水産業費 商工費



問 黒磯駅周辺地区都市再生整備計画事業費の補助金、街なみ環境整備事業の積算根拠を伺う。

答 個人の方が、自宅を黒磯駅前周辺の街なみに合わせることに對する補助金で外観修景に200万円を1件、設備等の修景に100万円を2件、外構工事200万円を1件で想定し、合計600万円の計上である。

- 道路維持管理費 7億 6,449万円
- 社会資本整備総合交付金事業費 2億 9,702万円
- 特定建築物耐震改修費補助事業費 2億 6,367万円
- 公園整備事業費 5,373万円
- 住宅総務費 1,022万円
- 空き家等対策事業費 2,136万円
- 市営住宅維持管理費 1億 2,477万円
- 黒磯駅周辺地区都市再生整備計画事業費 6,831万円

土木費



問 那須地区消防組合負担金の、2市1町の負担割合をどう決めているか伺う。

答 組合運営の負担割合は平均割が20%、人口割が80%、施設整備に係る負担割合は平均割が10%、人口割が90%と決められている。これに基づいて毎年の負担金が決まる。

- 小学校施設整備事業費 4億 5,257万円
- 中学校施設整備事業費 4,287万円
- コミュニティ・スクール事業費 188万円
- 体育施設整備事業費 6,960万円
- 那須地区消防組合負担金 17億 9,896万円
- 消防団活動費 1億 5,282万円
- 消防コミュニティセンター管理費 1,260万円
- 消防団施設・設備管理費 1,847万円

教育費 消防費

こんなことを審査・調査しました

総務企画常任委員会

一般職と会計年度任用職員の雇用条件が一部同等になります

問育児休業を取得している職員が少ないが、どのような方が対象なのか伺う。

答育児休業については、3歳未満の子を養育する職員が対象である。

問条例の改正から、会計年度任用職員に勤勉手当が出ることになると、所得はどのくらい上がると想定されるのか。

答勤勉手当の支給割合としては、給料1.025月分で、6月と12月分を足すと、2.05月分の収入がアップする。

塩那森林管理署と市は協力して自然再生を推進します

問大沼地域について、観光客の利用状況を伺う。

答春の新緑、夏の植物や花々、秋の紅葉、冬のスノーシューなどのイベントを実施しており、活発に利用されている。

※ ◎は委員長、○は副委員長

【審査分野】市政全般、自治会、情報システム、防災、税など
【委員】◎森本彰伸○林美幸、三本木直人、田村正宏、齊藤誠之、佐藤 一則、平山武、松田寛人、金子哲也

＜ 所管事務調査報告 ＞

令和6年3月8日に、管内所管事務調査を行いました。

- ①とちぎ結婚支援センター那須塩原
- ②那須塩原市市民活動センター
- ③那須塩原市移住促進センター

上記施設における事業内容について説明を受けました。



福祉教育常任委員会

学校施設整備の財源確保を目的とした基金条例を制定します

問第5条に基金の繰替運用を規定しているが、こういったときに繰替えの運用を想定しているのか伺う。

答市の収支の状況で支出が多くなる場合、一時借入金で処理すると利息が高くなることから、基金から不足分を一時的に繰り出して市の財政にとって有利な方法で運用していくことを想定している。

障害者計画の策定により福祉行政の充実を図ります

問第4期障害者計画・第7期障害福祉計画・第3期障害児福祉計画期間を策定するが、障害特性に応じた情報提供及び情報を取得しやすい環境整備についての具体的な取組と、その目指すべき方向性を伺う。

答障害者サポートアプリを作成し、対象者にこのアプリを登録してもらい市から必要な情報を配信する。アプリ利用者は登録の際に障害の種別、度合を登録することにより必要な情報が取得できる。このようなアプリを活用し施策を推進していく。また、登録者2,000人を目指し、窓口での勧奨やサービス提供事業所に登録の勧奨を依頼することで目標達成につなげていく。

介護保険財政調整基金の充当先を拡充し地域支援の充実を図ります

問介護保険給付目的による財政調整基金だが、これからは地域支援事業にも充当するのか。

答保険料を上げずに基金を活用し、介護給付費のほか地域支援事業の充実を図っていく。

【審査分野】福祉、子育て、教育、文化、スポーツなど
【委員】◎益子丈弘○星宏子、堤正明、室井孝幸、相馬剛、眞壁俊郎、山本はるひ、玉野宏

建設経済常任委員会

建築物の省エネ改修等の規制が緩和されます

問今回の改正により、既存不適格建築物であっても、安全性に問題がないと認定されれば、省エネ改修、大規模修繕が可能になるとのことだが、接道義務や道路内建築制限に適合しない既存不適格建築物は、具体的にどのような経緯により生じるものか。

答建築基準法の適用以前に建築された建物や、建築当時は適法であったが、法改正などにより、基準に適合しなくなった建築物が既存不適格建築物である。これらの建築物は、現行基準に合わせることができない場合、建て替えや増改築を行えないが、省エネに特化した改修については行えるよう、認定制度を設けたものである。

青木ふるさと物産センターにおいて農観商工連携事業を実施します

問改正案の第3条第4号に農観商工連携事業とあるが、具体的にはどのようなものか。

【審査分野】都市計画、道路、農業、観光、環境、水道など
【委員】◎大野恭男○小島耕一、山形紀弘、星野健二、中里康寛、鈴木伸彦、中村芳隆、齋藤寿一

答異業種間、例えば農業者と飲食店のマッチングを進める商談会や、6次産業化による新商品開発などである。

水道行政の一部が厚労省から国交省へ移管されます

問国では水道行政の一部を厚生労働省から国土交通省へ移管するとのことだが、その背景は。

答国の新型コロナウイルス感染症対策本部において、次の感染症危機に備え、感染対応能力を強化するため、厚生労働省の組織見直しを行い、水道法などの権限の一部を国土交通省に移管した。水道行政が抱える課題は、水道事業者の経営環境の悪化、水道施設の老朽化や耐震化の対応などであり、社会資本整備や災害対応に関する専門的な能力や知見を有する国土交通省に移管して水道整備・管理行政の機能強化を図るもの。

予算常任委員会

防災士を養成します

問防災士養成講座の内容を伺う。

答隔年で防災士を養成する講座とフォローアップする講座を行っている。令和6年度は養成講座で防災士50人を養成する予定である。地域住民や、市の職員、避難所になる学校の教職員の中から50人を選抜し実施する。

コミュニティ・スクール事業が始まります

問コミュニティ・スクール事業費について学校運営協議会委員の報酬は何名分を見込んでいるのか伺う。

答令和6年度は8校を先行して導入し、合計で101名を見込んでいる。

にしなすの運動公園に屋外バスケットボールコートが整備されます

問体育施設整備事業費について、にしなすの運動公園に屋外バスケットボールコートを整備するに至った経緯と内容を伺う。

答市民からの要望が増え、第2期スポーツ施設整備計画にも盛り込んでいる。内容は、屋外にコート1面を設置し、コート外に練習用ゴール1基を整備する。

健康づくりを推進しています

問健康づくり推進費について、デジタル健康ポイント事業の詳細を伺う。

答スマートフォンのアプリを使い、歩数や健康行動などを入力してポイント化するので、令和8年度末までに5,000人の利用を見込んでいる。

令和6年度国民健康保険特別会計予算

●物価高騰の中、高い国民健康保険税を払えず苦しんでいる市民がいる。国保税の「均等割」という仕掛けは、事実上の人頭税であり、赤ちゃんに国保税を払えるわけがなく理不尽な制度である。子どもの均等割額の減免を18歳まで拡大することが必要だと考える。(堤 正明議員)

●歳入では、財政調整基金約1億5000万円を活用して、被保険者数の減少に伴う国保税の減少を賄うほか、デジタル健康ポイント事業の財源とするなど、負担増加の抑制と、中・長期的な観点から市民の健康づくりを進める予算となっている。(田村 正宏議員)

令和6年度後期高齢者医療特別会計予算

●医療行政と福祉の役目は、高齢者をどう守るのかを考えることである。後期高齢者が低所得の中で、医療機関の受診や介護サービスを諦めることで重症化が進む。市として栃木県後期高齢者医療広域連合に医療費の軽減を求める必要があると考える。(堤 正明議員)

●令和6年度の歳入で、高齢者負担率を上げた理由は、「全世代型社会保障」の一環であり、歳出では、後期高齢者医療事務や、ますます増加が予想される高齢者の医療費に対しての給付で、後期高齢者医療を安定的な制度として運営継続をしていくために必要である。(齊藤 誠之議員)

令和6年度介護保険特別会計予算

●特別養護老人ホームは入所待ちが解消されていない。介護保険を払っても介護サービスが十分に受けられない。特養ホームを増設し入所待機者の解消を図り、要支援者・要介護者の健康と暮らしを守るよう求める。誰もが安心して暮らせる那須塩原市にするべきである。(堤 正明議員)

●2025年問題や2040年問題という、今後間違いなく直面する大きな課題に対処しながら市民の保険料負担を抑えつつ積極的な取り組みを行うための予算が計上されており、適正な予算処置が図られているので賛成する。(室井 孝幸議員)

敬老祝い金条例の一部改正について

●祝い金を受け取る高齢者は、これまで健康に配慮し生活してきたあかしである。その祝い金が満88歳米寿で1万円、満100歳上寿で10万円とはあまりにも少額である。年齢相当に米寿の人に88万円、上寿の人に100万円を支給してもおかしくないと考える。(堤 正明議員)

●高齢化の進行は、本市にとっても例外ではなく2040年には市民の5人に2人が高齢者となることが予測されている。限られた予算をより有効に活用する高齢者全体の福祉の充実を図るものとして非常に高く評価するため、賛成する。(室井 孝幸議員)

介護保険条例の一部改正について

●保険料率の区分を12区分から14区分へと細分化し、新たな負担区分を設けるものである。区分ごとの保険税額はほぼ変わらないが依然として高い税額となっている。高齢化社会を見据えれば、目先の対応でなく介護保険制度を見直し公費負担を増やす必要がある。(堤 正明議員)

●県内でも介護保険料の値上げに踏み切らざるを得ない事例も確認される中、本市は、介護保険財政調整基金を有効に活用することで保険料基準額を現行と同額に据え置くこととした本市の判断は大いに評価できるため賛成する。(室井 孝幸議員)

第4期障害者計画・第7期障害福祉計画・第3期障害児福祉計画について

●障害者計画を進めるには行政、社会福祉協議会、障害者団体、サービス提供事業者、地域活動団体、民生委員・児童委員、市民等が連携して取り組む必要がある。障害者が自分らしく幸福に生きていくためには、障害者の雇用確保と生活支援を拡充する必要がある。(堤 正明議員)

●本市に暮らす障害のある人達の現状や困りごと、必要とする支援等を調査・研究し、実態に即した計画である。11の基本視点は時代のニーズにマッチしており、福祉の向上を進める上で必要不可欠であるため賛成する。(星 宏子議員)

各議員の議案に対する賛否の状況

賛否の分かれた案件のみ記載しています。

会派名	サステイナブル 21							シン・那須塩原					志絆の会				公明クラブ			敬清会		かがやき	農業と環境の会	日本共産党	採決結果		
議員名	林美幸	室井孝幸	益子丈弘	山形紀弘	中里康寛	佐藤一則	中村芳隆	森本彰伸	齊藤誠之	相馬剛	松田寛人	齋藤寿一	小島耕一	鈴木伸彦	眞壁俊郎	金子哲也	田村正宏	星野健二	星宏子	平山武	大野恭男	玉野宏	山本はるひ	三本木直人		堤正明	
議案第8号	■令和6年度那須塩原市一般会計予算																										可決
	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	
議案第9号	■令和6年度那須塩原市国民健康保険特別会計予算																										可決
	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	
議案第10号	■令和6年度那須塩原市後期高齢者医療特別会計予算																										可決
	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	
議案第11号	■令和6年度那須塩原市介護保険特別会計予算																										可決
	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	
議案第32号	■那須塩原市敬老祝い金条例の一部改正について																										可決
	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	
議案第33号	■那須塩原市介護保険条例の一部改正について																										可決
	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	
議案第43号	■第4期那須塩原市障害者計画・第7期那須塩原市障害福祉計画・第3期那須塩原市障害児福祉計画について																										可決
	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	
議案第44号	■第9期那須塩原市高齢者福祉計画について																										可決
	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	
議案第47号	■令和5年度那須塩原市一般会計補正予算（第10号）																										可決
	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	
議案第48号	■損害賠償の額の決定及び和解について																										可決
	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	

【○】は賛成 【×】は反対



令和6年度一般会計予算

●当初予算540億円により「新庁舎の基本設計・実施設計」「那須塩原駅周辺まちづくり」などに取り組むとしているが、予算を「道路・橋梁の強化」「防災」等に振り向けるとともに、豊かな財政調整基金を市民生活の向上、福祉の増進に使うよう強く求める。(堤 正明議員)

●令和6年度の予算編成に当たっては、持続可能な財政運営を確保しつつ限られた財源を最大限に活用するため、後期基本計画の重点テーマに紐づく事業に優先的に予算付けされており、「那須塩原市に住んでいれば生き延びられる」持続可能なまちづくりを実現するもの。(佐藤 一則議員)

第9期高齢者福祉計画について

反対 ●計画の中で健康増進、地域医療の充実、高齢者の移動支援、介護者の負担軽減等をうたっているが、介護人材の不足から介護保険サービスを十分に受けられない現状がある。健康な高齢者を増やし、高齢者自身が社会に貢献できる具体的な手立てを行う必要がある。（堤 正明議員）

賛成 ●市内で生活する高齢者の健康、ニーズなどを把握するためアンケート調査を行い、その結果を基礎資料とし実態に即した計画であり、介護保険サービスの充実も図っている。介護保険財政調整基金を取崩し今後の介護保険料の上昇を抑制する施策も盛り込んでいるため賛成する。（星 宏子議員）

令和5年度一般会計補正予算（第10号）

反対 ●補正予算は、那須高林産業団地で地中から発見された規定外の石に対する損害賠償として財政調整基金を取り崩して支払うとしているが、石を持ち込んだ原因者が特定されていない。損害賠償金の回収見込みが立っていない現在、財政調整基金からの支出に反対する。（堤 正明議員）

賛成 ●原因者を特定するまで対応しないとなれば、操業開始が今よりも遅れ、操業遅延に対する賠償金額が更に増加する。那須高林産業団地に立地した企業の操業をできる限り円滑に進めることが、本市の雇用の創出や地域産業の振興に寄与すること考える。（中里 康寛議員）

本会議において審議された議案の結果（報告案件は除く）は次のとおりです。

議案番号	件 名	結 果
同意第 1 号	那須塩原市教育委員会委員の任命について	同 意
同意第 2 号	人権擁護委員の候補者の推薦について	同 意
議案第 1 号	令和5年度那須塩原市一般会計補正予算（第9号）	可 決
議案第 2 号	令和5年度那須塩原市国民健康保険特別会計補正予算（第4号）	可 決
議案第 3 号	令和5年度那須塩原市後期高齢者医療特別会計補正予算（第4号）	可 決
議案第 4 号	令和5年度那須塩原市介護保険特別会計補正予算（第4号）	可 決
議案第 5 号	令和5年度那須塩原市温泉事業特別会計補正予算（第3号）	可 決
議案第 6 号	令和5年度那須塩原市水道事業会計補正予算（第3号）	可 決
議案第 7 号	令和5年度那須塩原市下水道事業会計補正予算（第3号）	可 決
議案第 8 号	令和6年度那須塩原市一般会計予算	可 決
議案第 9 号	令和6年度那須塩原市国民健康保険特別会計予算	可 決
議案第 10 号	令和6年度那須塩原市後期高齢者医療特別会計予算	可 決
議案第 11 号	令和6度那須塩原市介護保険特別会計予算	可 決
議案第 12 号	令和6年度那須塩原市温泉事業特別会計予算	可 決
議案第 13 号	令和6年度那須塩原市墓地事業特別会計予算	可 決
議案第 14 号	令和6年度那須塩原市水道事業会計予算	可 決
議案第 15 号	令和6年度那須塩原市下水道事業会計予算	可 決
議案第 16 号	那須塩原市学校施設整備基金条例の制定について	可 決
議案第 17 号	那須塩原市社会福祉施設入所等措置負担金徴収条例の制定について	可 決
議案第 18 号	那須塩原市公告式条例の一部改正について	可 決
議案第 19 号	那須塩原市監査委員に関する条例の一部改正について	可 決
議案第 20 号	那須塩原市長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例の一部改正について	可 決
議案第 21 号	那須塩原市職員の分限に関する手続及び効果に関する条例の一部改正について	可 決
議案第 22 号	那須塩原市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部改正について	可 決
議案第 23 号	那須塩原市職員の育児休業等に関する条例の一部改正について	可 決
議案第 24 号	那須塩原市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	可 決
議案第 25 号	那須塩原市特別職報酬等審議会条例等の一部改正について	可 決
議案第 26 号	那須塩原市長等の給与及び旅費に関する条例の一部改正について	可 決
議案第 27 号	那須塩原市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正について	可 決
議案第 28 号	那須塩原市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正について	可 決

議案第 29 号	那須塩原市国民健康保険税条例の一部改正について	可 決
議案第 30 号	那須塩原市手数料条例の一部改正について	可 決
議案第 31 号	那須塩原市介護保険財政調整基金条例の一部改正について	可 決
議案第 32 号	那須塩原市敬老祝い金条例の一部改正について	可 決
議案第 33 号	那須塩原市介護保険条例の一部改正について	可 決
議案第 34 号	那須塩原市青木ふるさと物産センター条例の一部を改正する条例の一部改正について	可 決
議案第 35 号	那須塩原市企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正について	可 決
議案第 36 号	那須塩原市水道事業給水条例の一部改正について	可 決
議案第 37 号	那須塩原市産業団地造成事業特別会計条例の廃止について	可 決
議案第 38 号	那須塩原市箒川沿岸運動広場条例の廃止について	可 決
議案第 39 号	那須塩原市塩原温泉華の湯条例の廃止について	可 決
議案第 40 号	契約の締結について	可 決
議案第 41 号	財産の取得について	可 決
議案第 42 号	財産の取得について	可 決
議案第 43 号	第4期那須塩原市障害者計画・第7期那須塩原市障害福祉計画・第3期那須塩原市障害児福祉計画について	可 決
議案第 44 号	第9期那須塩原市高齢者福祉計画について	可 決
議案第 45 号	大田原市火葬場の使用に関する協定の締結について	可 決
議案第 46 号	大沼地域における自然再生推進に関する協定の締結について	可 決
議案第 47 号	令和5年度那須塩原市一般会計補正予算（第10号）	可 決
議案第 48 号	損害賠償の額の決定及び和解について	可 決
議案第 49 号	令和5年度那須塩原市一般会計補正予算（第11号）	可 決
議案第 50 号	那須塩原市税条例の一部改正について	可 決
議案第 51 号	那須塩原市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部改正について	可 決
発議第 1 号	那須塩原市議会委員会条例の一部改正について	可 決
発議第 2 号	那須塩原市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	可 決
発議第 3 号	那須塩原市議会取組実行計画について	可 決



サステイナブル21
中村 芳隆議員



令和6年度市政運営方針について

問那須塩原駅周辺まちづくりについて。

答那須塩原駅周辺は、なすしおばら Life を体現するところであって、また再び訪れたいような駅にしていって、移住者増にもつながっていきたいと思っている。那須塩原駅というのは那須塩原市だけのものではなく、栃木県北の玄関口としても機能している。那須エリアの魅力を集積して、玄関口としてもふさわしいエリアづくりをしていきたい。

問「2050 Sustainable Vision 那須塩原～環境戦略実行宣言～」の推進について。

答単に自然を守っていこうとか開発を規制していこうというだけでなく、生物多様性の回

1. 令和6年度市政運営方針について
2. 令和6年度当初予算について

復を図ることによって、自然が提供する新たなサービスを維持、向上を図って、社会や経済にとってプラスになるようなことを進めていこうという取組である。カーボンニュートラルやネイチャーポジティブ、それからサーキュラーエコノミーという言葉が冠している。

問道の駅「明治の森・黒磯」リニューアルオープンについて。
答具体的には、建て替え工事が完了する令和6年4月下旬に農産物直売部をオープンする。その後、準備の整った部門から順次オープンし、令和6年10月にグランドオープンを予定している。



シン・那須塩原
森本 彰伸議員



令和6年度市政運営方針について

問 外国籍転入者が増えている。我々シン・那須塩原では、宇都宮共和大学の留学生と情報交換を行い、多文化共生の施策で先進的な市に視察に行き、外国籍の人達との共生について研究を行っている。那須塩原市としては、転入してくる外国籍の人達が市にどのようなことを求めていると認識しているか伺う。

答 外国籍の人達だけではないが、移住者への補助を交付した人へのアンケートによると、豊かな自然の中で、ちょっと都会の暮らしができることが那須塩原市の魅力だとの意見があった。今後は移住者同士の意見交換の場所が欲しいとの声もある。

問 新しい庁舎は、人が集まる、一極集中的なコンセプトで設計が進んでいるように見える。以前は、地域の公民館やネット環境を利用し

この他、「新しい幹線道路整備と土地利用の考え方について」質問をしました。人が集う豊かな那須塩原市のために。

た、「行かなくても済む市役所」を掲げていたと思うのだが、矛盾はないのか伺う。

答 ネットワークの整備などが進む中、庁舎は最低限の整備で公民館でも各種手続きなどができるのではないかと考えたことがある。しかし、本当にそこまでの分散を行うと大きなコストがかかることがわかった。そこで、新庁舎はしっかり従来のサービスができるようにし、スマート公民館などを進め地域の利便性も確保していく。



志絆の会
鈴木 伸彦議員



持続可能な行財政運営について

問 経常経費の削減は図っていかねばならないと考えるが、令和3年度経常収支比率は89.5%、令和4年度は93.5%と4%ほど悪化している。令和5年度の数値はこれからであるが、令和6年度は適正值に近づける予算となっているか伺う。

答 各部局の主体性や自律性を高めた予算要求のもと枠配分的な考え方を取り入れ各部局の予算を調整した。限られた予算内で事業の優先度や費用対効果を見極めたうえ、目的を達成するために必要な事業について予算化し歳出の抑制を図った。適正值に近づけるよう努力している。

1. 令和6年度市政運営方針について
2. 持続可能な行財政運営について
3. 本市の高齢化対策等について

高齢者の移動手段や買物弱者への対応について

問 令和5年3月定例会議にドア・ツー・ドアの陳情が出ていたことは記憶にあると思う。また、ゆーバスのバス停から遠い場所に住んでいて困っている人がいる。そういった人を救う施策は検討されているか伺う。

答 ドア・ツー・ドアの移動手段としては既にタクシーがあるので、既存の交通サービスとのすみ分けの観点から、タクシーと同様のサービスは難しいと考えている。バス停までが遠く公共交通を利用しにくいという声があるので、自宅からバス停までの移動を補完できるような新たなデマンド交通の導入を検討している。令和6年度中に実証運行を実施する方向で検討調整を進めている。



公明クラブ
田村 正宏議員



「関係人口」の創出・拡大について

問 日本遺産を活用した観光振興など地域特性に応じた戦略として、今後明治貴族の末裔や関係者との関係深化を進める考えはあるか。

答 華族の末裔の人達にはこれまでも構成文化財の保存や活用など様々な形でご協力をいただいている。令和6年度には那須野が原博物館開館20周年記念として「松方正義と那須野が原」と題した特別展を予定しており、開催にあたり松方家の現在の当主に協力を求めるなど関係の深化に努めている。

問 農地法の改正による農地の権利移動の際の面積要件の廃止を受け、農地付き空き家の利活用を積極的に進めるべきではないか。

答 今後、農地付き空き家の空き家バンクへの登録を積極的に周知してまいりたい。

問 那須塩原駅周辺を二地域居住・多拠点居住

1. 「関係人口」の創出・拡大について
2. SNS等を利用した子どものスマートフォン等の不適切利用による性被害について

のモデル地域とする考えはあるか。

答 6年連続転入超過の要因は新幹線駅が存在によるところが大きいと考えている。今後、多様な移住者の選択肢として駅周辺がなすしおばらLifeが体现できる魅力的なエリアとなるようまちづくりを進めてまいりたい。

SNS等を利用した子どものスマートフォン等の不適切利用による性被害について

問 子どもがスマホでわいせつな画像を撮影保存した際、AIがデータを判別し注意喚起や保護者のスマホへ通知する機能を備えたアプリを周知・啓発する考えはあるか。

答 全国各地の自治体でスマホやタブレット等による性被害に対する調査研究が進んでいると理解している。本市としても導入すべきものがあれば迅速に対応してまいりたい。



敬清会
大野 恭男議員



令和6年度市政運営方針について

問 那須塩原市の現状と課題をどのように捉えているのか。

答 社会活動の再開に伴い東京回帰の動きがあるが、大規模災害等への懸念から、地方分散の意識は継続していると認識している。本市においては、転入超過を6年間維持し移住相談が年々増加している現状から引き続き地方分散の受け皿となる機会がある。課題は、移住定住を検討している市外の方に、効果的に本市の魅力を届けることであると考えている。

「地方分散の受け皿」づくりについて

問 「地方分散の受け皿」づくりで持続可能な地域やまちを構築する事業「2050 Sustainable Vision那須塩原」を推進するための取組みを伺う。

1. 令和6年度市政運営方針について
2. 高齢者福祉事業について

答 ネイチャーポジティブは里山や平地林など生物多様性に貢献している区域の拡大を図り、自然の回復に取り組む。カーボンニュートラルは、青木ゼロカーボン街区構築や地域新電力による再生可能エネルギー由来の電力供給を進め地域脱炭素化に取り組む。サーキュラーエコノミーは、粗大ごみのリユースや廃棄物の資源化について検討し資源循環に取り組む。体制については新たに環境戦略部を設置し、各分野の基盤となる環境施策に取り組んでいく。





小島 耕一議員



人手不足の対策について

問 農業の人手不足対策となるドローン等の利用などスマート農業の導入支援は。

答 次世代農業チャレンジ事業を実施しており、来年度は850万円の予算を計上している。

来年度のまっりの検討状況について

問 開こん記念祭の式典をやめて、開拓の歴史を継承するとのことだが、どのような方法で行うのか。

答 各学校で開拓の歴史を学ぶ授業を行うほか、市民を対象として開拓史跡巡りの開催や市広報誌、ホームページで開拓の歴史を周知していく。

問 民間の方が開こん記念祭のようなお祭りを開きたいとの申請があった場合は支援するのか

答 具体的な動きがあった場合、どのような支

1. 人手不足の対策について
2. 来年度のまっりの検討状況について

援ができるのか検討していきたい。

問 那須野巻狩まっりの検討状況は。

答 主催団体になりたい団体が1団体、共催団体になりたい団体が4団体ある状況。

問 西那須野産業文化祭の実行委員会の検討状況はどうなっているか。

答 アンケートの結果、市に代わってまっりを実施するとの意向は確認できないため、開催は難しい。

問 西那須野地区の文化協会では文化祭の開催は可能ではないか。

答 西那須野文化協会では、理事会において文化部門の開催に向けて前向きに検討している。



佐藤 一則議員



運動部活動の地域移行について

問 運動部活動の地域移行の現状について伺う。

答 本市の運動部活動の地域移行は、国のガイドラインや県の移行プランを踏まえ、段階的に取り組むこととしており、令和7年度の総合体育大会終了後、新チームの活動から、1校につき少なくとも1種目、休日の地域クラブ活動のスタートを目指すこととしている。

問 地域間格差の課題があるか伺う。

答 各地域では、中学校等の生徒数の違いや立地条件、競技種目や生徒のニーズなどによって活動エリアや受皿の整備など、異なる課題が生じている。

問 平日指導と休日指導の一貫性の考え方について伺う。

答 平日と休日の指導者が変わっても生徒が混乱しないよう、指導の方向性や一貫性につい

1. 運動部活動の地域移行について

て教員と地域の指導者、相互の連携が重要と考えている。

問 指導者の確保と育成の現状について伺う。

答 現在、指導者の数は十分でないことから、引き続き、様々なアプローチによって指導者の確保に努めたい。

問 市では部活動地域移行について最終的にどのような形を想定しているのか伺う。

答 最初の完成形として、3月から厚崎中学校柔道部の土・日曜日の部活動について黒磯の武道館を使用し、地域の指導者も子どもも保険に加入して完全に地域移行する。生徒たちがあらゆる運動部活動、文化部活動に主体的に参加できる環境を整えることだと考える。



山本 はるひ議員



「那須塩原市子ども・子育て夢基金」を活用して公園にインクルーシブ遊具を！

問 この基金を活用して2024年度に予定している事業は何か伺う。

答 子ども食堂、学びの場、インクルーシブ遊具の公園への設置、子育て応援券、ヤングケアラーの支援啓発事業、市有施設へのキッズスペースの設置、保育園の絵本の配布など幅広く支援をしていきたい。

問 インクルーシブ遊具の公園について、設置場所、予算額、今後の計画を伺う。

答 那珂川河畔公園に2,650万円の予算で設置したい、2,500万円をこの基金から充当したい。遊具は※プロポーザルで選択、設置していく計画。

問 市有施設へのキッズスペースとは、どのようなイメージなのか伺う。

1. 「那須塩原市子ども・子育て夢基金」の活用について
2. 市内に住んでいる外国人へのサポートについて

答 場所は長寿センター2階を活用し、小学校低学年までを想定して親子で遊べるスペースを考えている。

問 寺子小学校跡地に子どもの施設、遊び場を造ることを考えたことはあるか。

答 寺子小学校そのものを具体的には考えていなかった。まちの中、駅前など市有施設で活用しなくなったようなものがあれば考えていきたいと思っている。

答 寺子小学校は人気のある施設でハード面はしっかり造られている。議員の提案に興味深く聴いて、有効活用していきたいと思っている。

※プロポーザルとは…自治体が発注先企業を選ぶための方法のひとつで、複数の企業の中から最も優れた提案をした企業を契約の候補者として選定するもの



相馬 剛議員



インボイス制度開始における上下水道料金の請求書について

問 令和5年10月「インボイス制度」開始により上下水道事業では、各々2つの番号を記載。「媒介者交付特例」を採用すれば、市民や事業者の会計処理上の負担が増えないが、市の対応を伺う。

答 制度を原則通り運用し、水道と下水道事業の各々の登録番号を記載した。制度開始後に検証をした結果、令和6年4月より「媒介者交付特例」を採用することとした。

戦没者慰霊碑等の管理について

問 市内の戦没者慰霊碑は、遺族会の解散や高齢化により、草刈、清掃など維持管理が困難となっているが、市が維持管理を行えるか、現状と市の考えを伺う。

1. インボイス制度開始における上下水道料金の請求書について
2. 戦没者慰霊碑等の管理について
3. 不妊・不育治療費助成事業について

答 戦没者慰霊碑は、13か所23基ある。遺族会による管理が難しくなっている現状は理解しているが、市が一括管理する考えはない。市有地の管理は市が行うこととなるが、公金による管理は法的問題をクリアにした後に遺族会等と協議を進める必要がある。

不妊・不育治療費助成事業について

問 令和4年から不妊治療費が保険適用となり助成費予算が43%減。今後の支援と先進医療への助成拡充について伺う。

答 助成件数は令和4年度112件、5年度は1月末で10件と大幅に減少。今の制度では先進医療は対象外となっている。今後子どもを授かりたい人の可能性を高めるため、助成内容を含め助成拡充について検討する。



林 美幸議員



伴走型支援の考え方について

問 学習支援事業で、学習支援の利用の際に送迎等が困難な場合、ファミリーサポートセンターが利用可能であるというアナウンスができるのかを伺う。

答 学習支援利用の際のアナウンスは可能である。学習支援の募集広告などに、「車で送迎できない御家庭の方はファミリーサポートセンターの利用ができるため子ども未来部に御相談ください」との文章を入れて周知していきたい。

問 発達課題がある子どもの対応について、保育所等訪問支援の現状を伺う。

答 3年間の推移で利用者は増加している。令和4年度の利用者は41人。内訳は、5歳までの幼児期が18人、6歳以上の学齢期が23人となっている。

1. 伴走型支援の考え方について
2. 防災対策について

問 保育所等訪問支援の理解度について伺う。

答 保育現場では施設や職員によって理解にはまだばらつきがある。今後は、理解の徹底を図っていききたい。

防災対策について

問 避難行動要支援者支援事業の現状と課題について、個別避難行動要支援者の個別計画を作成する上で必要なことを伺う。

答 要支援者と連携し、個別計画を策定するためには、地域の実情をよく知っていること、顔の見える関係であることが必要で、自治会長や民生委員・児童委員に策定を依頼している。地域における支援のつながりが深まっていければと考える。

女性のライフステージにおける体調の変化は社会と周囲の理解が大切なのでフェムテックを取り上げました。

運転免許証自主返納者支援事業の用途拡充について

問 運転免許証自主返納者に支援事業のメニューを選んでもらう。例えば2万800円分の共通乗車券、そのうち5千円分のバスアンドランチツアー、全額バスを利用した1泊2日のツアー等のメニューを提案して公共交通を使って楽しんでもらうような企画を提供しハードルを下げる考えはあるか。

答 共通乗車券は実際は半分程度の利用にとどまっている。利用が少ない理由を検討し、より使っていただけるよう考える。

※フェムテックとは…フェムテックは、女性を意味するフィーメールと技術を意味するテクノロジーを組み合わせた造語。月経や妊娠、更年期などの女性特有の健康課題を解決するためのサービスや製品を指す



星 宏子議員



フェムテックへの理解促進について

問 フェムテックへの本市の考えについて伺う。

答 フェムテックは那須塩原市としても注視をしていく。国の進捗状況を見ながら検討していきたい。民間企業と一緒にできることがあれば、民間の活用を考える。

聞き取り困難者へのよりよい窓口対応について

問 行政窓口における聞き取りが困難な方への合理的配慮について伺う。

答 福祉部門を含む全ての窓口において、聞き取りが困難な方の特性や合理的配慮の提供について理解促進を図り、窓口において対応に苦慮した事例やニーズの把握に努め、意思疎通を円滑にするための機器を導入している自治体の活用事例について研究していく。



益子 丈弘議員



本市の環境戦略について

問 環境戦略部となることでどう変わるのか伺う。

答 環境に特化し、例えばCO₂削減において再生可能エネルギーの活用と森林の保全、廃棄物削減の取組を連携して相乗効果を発揮し今までより積極的かつ効果的に取り組める。

問 本市が環境施策に重きを置く必要性をどう考えるのか。

答 SDGsの17の目標の中で環境は基礎にある。健全な社会構造をつくり、その上に持続可能な経済活動が成り立つと考える。企業活動も環境を整えることが近年問われ付加価値として変化してきている。本市としても環境配慮は非常に重要な観点として率先して取組を進めていく。



星野 健二議員



耐震対策の拡充について

問 本市では、耐震化を促進するための施策などは計画通りに進められているのか。

答 耐震化率について、令和7年度末で大体90%を見込んでいる。ただ耐震性が不足している住宅の耐震改修の進み具合が低調なため、引き続き周知や啓発活動を行って行く。

問 市民の防災に対する意識向上のため、家具転倒防止器具、防災グッズ、火災報知器、地震ブレーカー等の導入に補助を出すような施策を行ってはどうか。

答 費用対効果及び対象者、市民ニーズについて研究し、検討してまいりたい。

問 令和6年度より耐震対策で拡充される施策について。

答 耐震診断費用について、自己診断に3万2千円ほどかかっていたが、来年度からは全額

1. 本市の環境戦略について
2. 高齢者が安心して暮らせる街をめざして

高齢者が安心して暮らせる街をめざして

問 消費生活トラブルの対応はどのように行なっているのか。

答 悪徳商法や特殊詐欺の情報をアップデートし、地域一丸となり周知や関係者と各種事業に取り組んでいる。また、悪徳商法や特殊詐欺の迷惑電話の対策として特殊詐欺撃退機の貸し出しを行なっている。

問 屋外電力メーターとAIによるフレイル対策事業を実施して目指すことは何か伺う。

答 高齢者が日常生活を送りながらも常にAIがフレイルの兆候を確認することで早期の介護予防の取組につなげ身体機能の回復を図れる。デジタル健康ポイント事業などと組み合わせることで高齢者が自ら進んで介護予防に臨める環境を整えたい。

補助とし耐震改修につなげていきたい。

問 能登半島地震を教訓にした本市の今後の耐震化の考えについて。

答 耐震改修が進まない状況を踏まえ、所有者などの費用負担を軽減する支援を継続し、耐震シェルターによる部分的な耐震改修の手法などを検討し、耐震化を進めて行きたい。



室井 孝幸議員



災害に対する備えについて

問防災倉庫の現状と課題について伺う。

答現状では、指定避難所 53 か所のうち、公民館と小中学校の指定避難所 47 か所と本庁、両支所、出張所の 4 か所をあわせた合計 51 か所に防災倉庫を設置し備蓄品を保管している。これらの備蓄品については、災害時に役立たないことのないよう定期的な点検が必要であると認識している。

問備蓄品の現状と課題について伺う。

答現状では、アルファ米、缶詰パン、離乳食、粉ミルク、飲料水などの非常食のほか、紙おむつ、生理用品、毛布などの日用品、簡易トイレや暖房器具、発電機、カセットコンロなどの資機材、また、感染予防用品なども備蓄している。課題は、避難者の生活環境を維持するために必要な簡易トイレや段ボールベッ

1. 災害に対する備えについて

ド、パーテーションなどの備蓄を充実させる必要があることである。



齊藤 誠之議員



教育環境の充実について

問大山小学校の体育館の改築が令和 6 年度予算に計上されているが、今後の予定を伺う。

答大山小学校体育館改築工事については、令和 6 年度当初に既存のプールを解体した後、令和 7 年度にかけて体育館の改築工事を行う予定で、新体育館の完成後は、既存の体育館を解体し、駐車場を整備する予定である。

問体育館については、ZEB 化、今の時代に沿った体育館になるのか。

答大山小学校の体育館についても、ZEB 化に向けて設計を進めており、太陽光発電と蓄電池を設置する予定である。なお、発電した電気については、蓄電池への充電や学校内での使用、非常時の電源ということで考えている。

問体育館の完成予定を伺う。

1. 教育環境の充実について
2. 道路標識、カーブミラー及び啓発看板等の維持管理について

答完成は、令和 7 年の 9 月頃を予定している。

問教育施設の充実に係る財源確保として、新たに学校施設整備基金を創設するが、どのように積み立てて、活用されていくのか伺う。

答一般財源やふるさと納税等による寄附金を財源として積み立て、小中義務教育学校の施設整備事業費に活用する予定である。



堤 正明議員



本市の大規模災害発生時の対応について

問能登半島地震は、人的被害、住宅被害のほか道路・インフラも寸断された。

想定している災害の種類、飲料水の確保、避難所の確保・運営等、災害対応能力について伺う。

答風水害、震災、火災、火山災害及び原子力災害が想定され、各災害の対策を定めている。また、指定避難所として公民館、小中学校、市有施設の 53 か所を指定している。国土交通省では、広域的な防災拠点として道の駅を防災道の駅として選定しているが、本市ではいずれも選定されていない。災害対応力の強化を図るため、地域防災計画の改定や避難所環境充実の予算を計上した。水を使わず排泄物を処理する組立て式の簡易トイレを 168 個、段ボールベッドを 50 セツ

生き延びられる那須塩原市にしよう。

ト、乳幼児のおむつを 1,512 枚を備蓄している。

国民健康保険税の軽減について

問物価高騰の中、高い国民健康保険税を払えず苦しんでいる市民がいる現実がある。国保税の「均等割」という仕掛けは事実上、人頭税であり、赤ちゃんに国保税を払えるわけがなく、まったく理不尽な制度である。18歳までの子どもの均等割額の全額免除について考えを伺う。

答18歳までの子どもの均等割額を免除する保険税相当額は、他の被保険者が負担することになり税率や均等割額、平等割額の引上げにつながるためその考えはない。



齊藤 寿一議員



クマの目撃情報に関する市の対応について

問昨年における本市の目撃件数と対応について。

答本市の目撃件数は 31 件で、黒磯地区 11 件、西那須野地区 1 件、塩原地区 19 件である。対応としては対応フローチャートに基づいて、情報が入った場合は市職員と鳥獣被害対策実施隊員また警察とで現地調査を実施している。捕獲後の対応については、クマの状況を確認した上でクマ捕獲後の対処マニュアルに基づき、メス・3 歳未満の子クマや 40kg 以下のクマは放獣とし、それ以外は処分とする。クマの目撃情報があった場合は、農林整備課などから教育委員会に連絡が入り、近隣の学校へ伝えている。

1. 市有施設の利活用のための実証実験について
2. クマの目撃情報に関する市の対応について
3. 災害に備えたコンビニ店との連携によるトイレの確保について

災害に備えたコンビニ店との連携によるトイレの確保について

問市内のコンビニ店に協力を依頼し、公共化に向けた協議をしてはどうか。

答公衆トイレは維持費もかかるので何か見直しが必要であると考えている。コンビニエンスストアのチェーンともいろいろ意見交換をさせていただいており、市民のサービス向上につながると考え、今後協議、あるいは検討していきたい。

Future

～わたしの夢～ No.27

東那須野中学校 3年

たしろ みそら

田代 美空さん

ウェディングプランナーとして
人を幸せにしたい

私の将来の夢は、ウェディングプランナーになることです。幼い頃、親戚の結婚式に出席したときに、とても幸せな気分を自分も感じられたことが、そう思ったきっかけでした。結婚式は、ウェディングプランナーと夫婦が共に協力し合ってできるものだと思います。私は、それに携わって人を幸せにしたいと思いました。

だから、今後の学校生活ではウェディングプランナーにとって必要なマナーや礼儀、中でも相手と話すときの言葉遣いに気を付けたいと思いました。また、「相手の目を見て話をする」、「笑顔で接する」ということを心掛けていきたいです。私は、ウェディングプランナーになって人を幸せにしたいです。



美空さんは何事にも努力を惜しまず、学習面では優秀な成績を収めています。部活動でもバスケットボール部の中心選手として活躍し、地区の駅伝大会では区間賞を受賞するなど、何でも出来てしまうスーパーガールです。どんなことにも目標をもって根気強く挑戦し続ける美空さんを推薦します。

(推薦者 薄井 健)

議会 暦

日	月	火	水	木	金	土
6/2	3	4	5	6	7	8
					本会議 再開・提案説明	
9	10	11	12	13	14	15
	本会議 会派代表質問	本会議 一般質問		本会議 一般質問	本会議 一般質問	
16	17	18	19	20	21	22
	本会議 一般質問	本会議 一般質問・議案質疑	常任委員会	常任委員会	常任委員会	
23	24	25	26	27	28	29
			議員全員協議会 予算常任委員会		本会議 採決・散会	

※上記の日程は予定です。今後変更になる場合があります。

本会議、常任委員会は、午前10時開会予定です。

会派代表質問は午前9時25分開会予定です。

★ 議場コンサート ★

♪ 開催日時：令和6年6月11日(火)
9:30～9:50

♪ 開催場所：市役所本庁舎4階議場

♪ 演奏者：ソプラノ歌手 藤田和恵
ピアニスト 藤本美玲

♪ その他：入場無料、予約不要



議員辞職のお知らせ

令和6年2月22日付けで、鈴木秀信議員が辞職しました。
このため、現在の議員数は25人(欠員1人)です。

編集後記

今号の「ざかいのひととき」は、令和5年度最後となる3月定例会議の審査や、各議員の質問が記事の中心でありました。3月定例会議は、翌年度の当初予算を審査する定例会議であり、これから市がどのような事にお金を使うかを決めました。市の事業が市民福祉の向上につながって行くように、議員一人ひとりが真剣に取り組んだ内容の一端を今回の「ざかいのひととき」で読み取って頂けると嬉しく思います。令和6年度も広聴広報委員会は委員一丸となって市民の声に耳を傾け、議会の活動を発信してまいります。

(森本彰伸)